

■ 第5講

総合テーマ：『官民連携による未利用公共施設・スペース』

日時：2019年9月24日（火）

会場：名古屋栄ビルディング 特別会議室（12階）

■講師：天米 一志 氏（（株）GPMO 顧問（兼）（株）GPMO Lab 代表取締役）

■テーマ：『公的不動産の有効活用と官民連携の可能性 ～最近のPPPトレンド～』



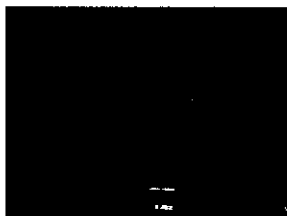
公共サービスは、「場所」と「サービスの質」で構成されます。従来の公共施設は、ハコモノ整備が中心でしたが、官民連携は、公益を実現するために、官と民が適切なリスク分担を行い、官が住民や民とパートナーとして事業を作り上げることが求められています。

PPP/PFI 推進アクションプラン（令和元年度改訂版）において、①コンセッション事業の推進、②実効性のあるPPP/PFI 導入検討の推進、③地域のPPP/PFI 力の強化などが提起され、事業範囲も公営住宅、文教施設、MICE、新エネルギーなど多様に広がると同時に、地元事業者の関心も高まっています。

今後、ますます新しい形の公的不動産の有効活用や官民連携の方法が生まれてくると思いますが、目の前の課題を俯瞰的に分析することにより、空間創造につながる官民連携の仕組みを設計していく意識で取り組んでいただきたい。

■講師：小嶋 敦夫 氏（特定非営利活動法人 みしまびと）

■テーマ：『旧幼稚園施設を活かした地域の未来をつくる人を育てる場づくり』



市内中心部にあった閉園した旧幼稚園を拠点とする「みしま未来研究所」事業が三島市のにぎわい創出事業として採択されました。地元建設会社が市から旧幼稚園を借り受け、リノベーションを行い、ここをNPO「みしまびと」が施設運営主体として借り受け、活動のハブとして地域の多様なステークホルダーと関わり、地域づくり、人づくりを進めています。地域の未来をつくる人を育てる場づくりのため、

参加者が共有できる「みしま未来研究所」の役割、活動の企画づくりに2年ほどの時間をかけました。リノベーションした旧幼稚園舎には、「ワーキングスペース」、「多目的スペース」、気軽に立ち寄れる街との接点を生み出す「Café & Bar」、マルシェイベントなどに活用できる「みんなの広場」、未来の地域リーダーを育てる「高校生の部屋」などが設けられています。現在、ここでは様々なイベント、セミナー、交流会、発表会などの活動の場として活用されています。